

発電所だより 2025年6月号

東北電力株式会社 女川原子力発電所総務部広報グループ
女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111
2025年6月発行

《女川原子力発電所2号機における「使用済燃料乾式貯蔵施設」の設置について》

5月28日、原子力規制委員会から「使用済燃料乾式貯蔵施設」の設置に係る基本設計について、原子炉設置変更許可をいただきました。今後は、設備の詳細設計となる「設計及び工事計画認可申請書」を準備が整い次第、原子力規制委員会に提出する予定です。

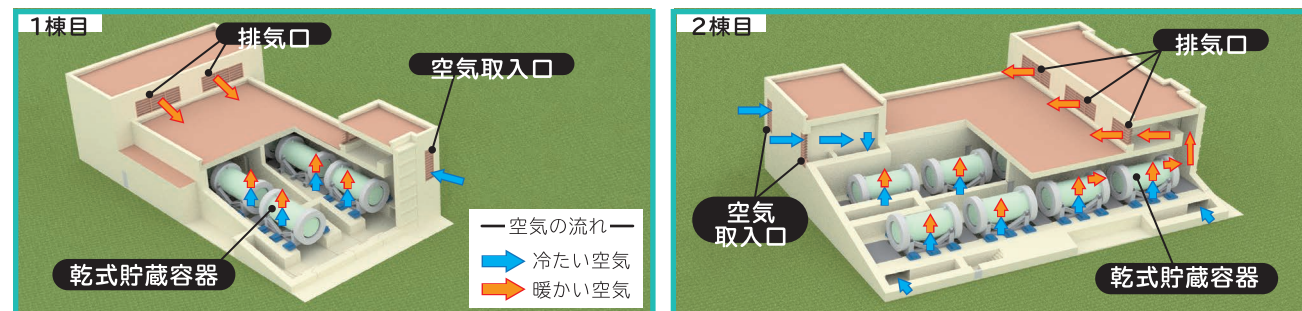
今後とも、原子力規制委員会の審査に適切に対応していくとともに、地域の皆さまには分かりやすく丁寧に情報を発信してまいります。

使用済燃料乾式貯蔵施設の概要

- ◆ 発電で使用した原子燃料は、原子炉建屋内の「使用済燃料プール」に移し、水を循環させながら冷却し安全に貯蔵しています。2号機の使用済燃料プールは再稼働から4年程度で管理容量に達する見込みで、使用済燃料を発電所から運び出すまでの間、一時的に貯蔵するため、発電所敷地内に「使用済燃料乾式貯蔵施設」を設置する計画です。
- ◆ 本施設は「①使用済燃料乾式貯蔵建屋」と「②使用済燃料乾式貯蔵容器」で構成され、使用済燃料プールで十分に冷却された使用済燃料を、堅牢な金属製の乾式貯蔵容器に収納し、乾式貯蔵建屋で空気の自然対流により冷却します。なお、この容器は、地震や竜巻などで乾式貯蔵建屋が損傷しても、安全機能を維持できる設計です。

①使用済燃料乾式貯蔵建屋

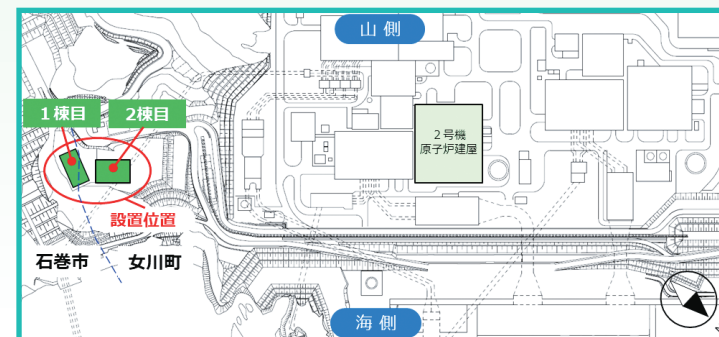
乾式貯蔵建屋は、放射線の遮へい効果のある鉄筋コンクリート構造とすることで、施設の敷地周辺における放射線量の低減を図ります。



	1棟目	2棟目
構造	鉄筋コンクリート構造 (約40m×約20m・高さ:約10m)	鉄筋コンクリート構造 (約40m×約30m・高さ:約10m)
設置場所	海拔38m	海拔36m
貯蔵容器	最大8基	最大12基
工事着工/運用開始	2026年5月/2028年3月	2030年8月/2032年6月

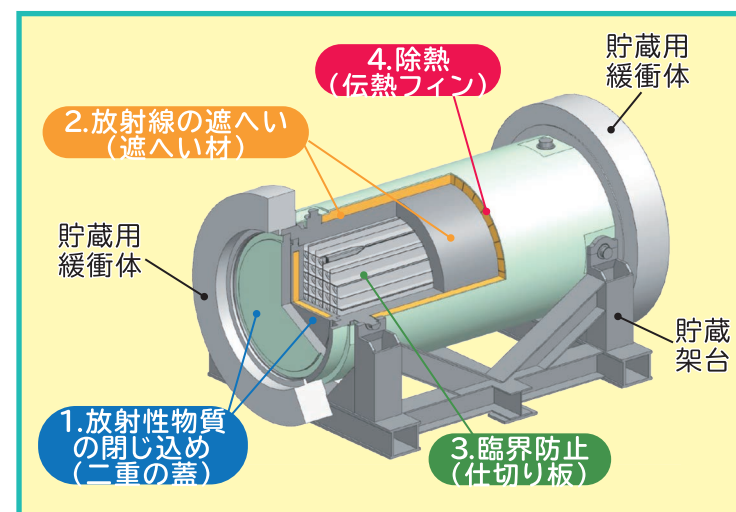
使用済燃料乾式貯蔵建屋の設置位置

乾式貯蔵建屋は、発電所で想定される最大の津波高さ23.1mに対し、その影響を受けない海拔38m(1棟目)および36m(2棟目)の敷地高台に設置します。



②使用済燃料乾式貯蔵容器

乾式貯蔵容器は、「放射性物質の閉じ込め」「放射線の遮へい」「臨界防止」「除熱」の4つの安全機能を備えています。使用済燃料プールで18年以上にわたり、十分に冷やされた使用済燃料を収納します。



使用済燃料乾式貯蔵施設の説明動画を公開しています

施設の概要や貯蔵方法などを紹介する動画を当社公式YouTubeチャンネルで公開しています。また、当社ホームページ「原子力情報」でも紹介しています。

動画の視聴は
こちらから▼
(再生時間:約5分)



当社ホームページ
はこちらから▼



- 1.放射性物質の閉じ込め** 二重の蓋で密閉し、放射性物質の漏れを防止。
- 2.放射線の遮へい** 遮へい材により、使用済燃料から放出される放射線量を低減。
- 3.臨界防止** 仕切り板により、使用済燃料の間隔を保ち、臨界を防止。
- 4.除熱** 伝熱フィンにより、使用済燃料から発生する熱を容器表面に伝え、空気の自然対流で冷却。

乾式貯蔵容器の仕様(1基あたり)	
寸法	[全長]約5.4m [外径]約2.5m
重さ	約119t
収納体数	使用済燃料69体

《地域の皆さまからご意見をお聴きしています》

地域の皆さまに発電所の状況をお知らせしながら、ご意見をお聴きする対話活動「こんにちは訪問」を実施しています（6月4日から6月25日までを予定）。

1994年の開始から48回目となった今回は、発電所員延べ約200名が女川町と石巻市牡鹿半島部の約3,700戸を訪問します。日頃の発電所運営へのご協力に関する御礼をお伝えするとともに、2号機の運転状況や使用済燃料乾式貯蔵施設などについて説明しています。

地域の皆さまからは、「これからも安全に気を付けてほしい」「丁寧に説明をいただけることがうれしい」などのご意見をいただいています。

皆さまからの貴重なご意見を今後の発電所運営にしっかりと生かしてまいります。



対話の様子

《女川原子力PRセンター「2025いもフェス」参加者を募集しています(参加費無料)》

女川原子力PRセンター敷地内の畑で育てた「じゃがいも」の収穫を体験するイベントを開催します。事前申し込みが必要となりますので、参加を希望される方は以下の申込フォームよりご応募ください。ぜひ、ご家族でお申し込みください。

日時 7月19日(土)、20日(日)

・午前の部 10:30～11:30
・午後の部 14:00～15:00

会場 女川原子力PRセンター

定員 各回(計4回) **20名**

申込締切 7月9日(水)

申込フォーム



応募者多数の場合は抽選となります。

抽選結果は7月11日(金)までにメールにてお知らせします。

※お預かりした個人情報はイベントに関する各種ご連絡や参加状況の確認等に利用いたします。

※当日の様子を撮影し、当社広報媒体やSNSなどで使用させていただく場合がありますのでご了承ください。



PRセンターのじゃがいも畑

本イベントのお問い合わせ先
女川原子力PRセンター

〒986-2221 女川町塚浜字前田123

PRセンターは原子力のしくみなどを
楽しみながら学べる施設となっ
ておりますので、ぜひご見学ください。

電話番号 0225-53-3410

開館時間 9時30分～16時30分

《女川原子力PRセンター周辺の清掃活動を実施しました》

5月19日、女川原子力PRセンター周辺の道路沿い約3.5kmの清掃活動を実施しました。発電所員やPRセンターのアテンダント計15名が、道路脇に捨てられた空き缶やペットボトルなどのゴミを拾い集めました。

今後も地域の一員として、環境美化活動に取り組んでまいります。

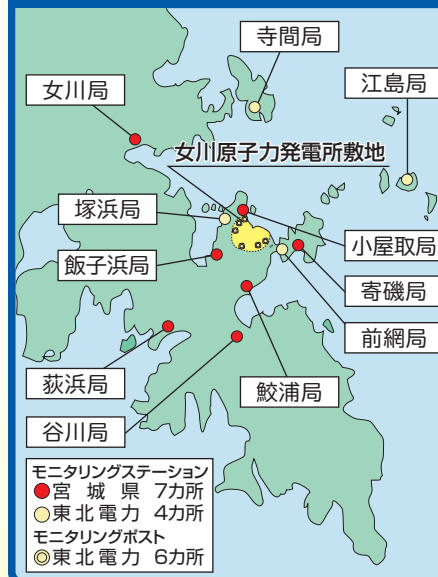


清掃の様子

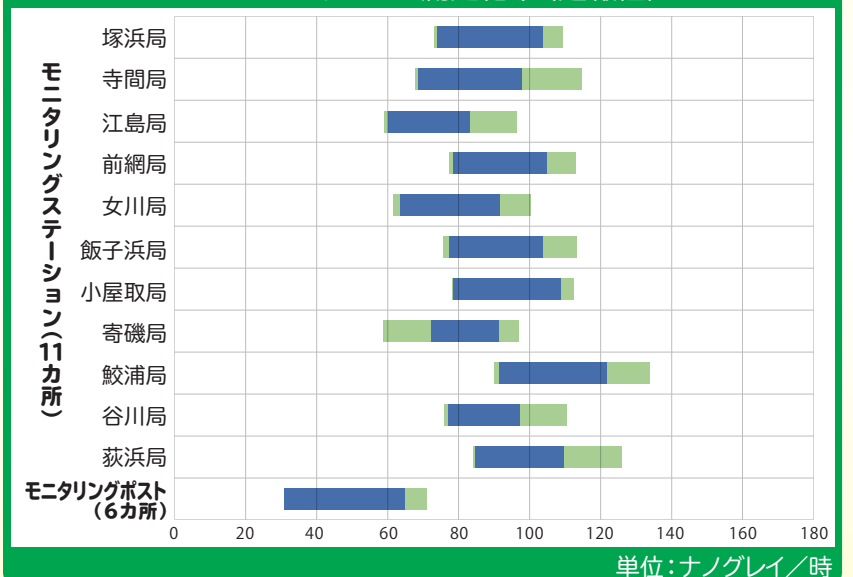
《発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングステーション※1やモニタリングポストで測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。2025年5月の測定結果は以下のとおりで、発電所周辺の放射線量は安定しており、発電所の運転による有意な変化はなく、環境への影響はありません。

モニタリングステーションと
モニタリングポストの設置地点



2025年5月のモニタリングステーションと
モニタリングポストの測定結果(速報値)※2



※1 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※2 モニタリングポストの測定値は、検出器の種類が異なるため、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないことから、モニタリングステーションの測定値より20～40ナノグレイ/時程度低い測定値となっています。

グラフの見方

